

橋高で探究！

研究 追究！！

新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）報告書



和歌山県立橋本高等学校

はじめに

本校ではこれまで「総合的な探究の時間」において、1年次「地域」、2年次「SDGs」をテーマとし、課題解決への提案を作成するとともに、3年次は自ら設定したテーマ研究を行うことで、社会に対する認識を深め、自己の生き方を選択する能力や態度を育成するなど、一定の成果を上げてきました。

しかし、生徒たちの提案や研究が、異なる立場や環境にある人から見た場合に、説得力があるものとなっているか、また別角度からの指摘に対応できるかという点において、現在の取組の範囲内においては課題があると考えています。

生徒が生きていく社会においては、他者と協働しながら問題解決に向かい取組を進める力が必要不可欠であり、本校が目指す育成すべき生徒像もそこにあります。しかし、生徒の交流範囲は同地域に住む同世代の人々に限定されがちであり、本校卒業生が、グローバル化が進む社会において活躍する力を養うためには、自分たちとは違う立場や環境にある人々に対して、自分の考えを伝えるとともに、他者の価値観にも触れながら、自分の考えを深める経験を積み重ねていくことが求められています。

そこで、今年度文部科学省より採択されました「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」を通じて、本校生徒が将来、グローバル人材として活躍できるよう、コミュニケーション能力の育成を目指し、地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議を行い、多角的視点からの考察に基づく課題発表の実践に向けて取り組んでいます。

本校の1年目の研究・実践は試行錯誤の連続ですが、今後これらの取組を組織的・継続的に行えるよう推進体制を整備するとともに、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や自分たちの研究についての討議を通じて、生徒たちがどう変容していくかについても検証していきたいと考えております。

本報告書が普通科改革の推進に関わる関係者の皆様にご覧いただき、具体的な取組を進めるうえでの御参考になればと願うとともに、本事業実施にあたって多大なる御指導と御協力をいただきました文部科学省、県教育委員会、運営指導委員、コンソーシアム機関及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和5年3月

和歌山県立橋本高等学校
校長 井筒正文

文部科学省 新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業) 令和4年度開始

和歌山県立橋本高等学校



橋高で探究!

研究 追究!!

人間関係形成・社会形成能力



「普通教育を主とする学科」における
「学際領域に関する学科」開設を目指します!

課題対応能力



自己理解・自己管理能力





新時代をたくましく
生き抜くために!

新たな 橋本高校を目指して

地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議することで、他者とコミュニケーションを取りながら、グローバルに活躍できる人材を育てる。

1 学年

国内外で活躍する社会人からの講演やインタビューの実施、他府県の高校とのディスカッション、和歌山の世界遺産や地場産業を英語で紹介する活動等に取り組み、コミュニケーションの基本的なスキルを修得するとともに、生徒にとって身近な地域の課題について探究活動を行う。

地域課題の発見・提起



SDGs探究



2 学年

SDGsをもとに課題を設定し、オンライン等を活用して、企業・大学と継続した意見交換を行い、プレゼンテーション能力の向上を図るとともに、課題解決に向けて研究を深める。

3 学年

2年生での研究を更に進め、海外の高校生と英語でディスカッションを行うことで、国際的なコミュニケーション能力を高めるとともに、より多角的な視点に基づき課題を追究し、グローバルに活躍できる力を身につける。

SDGs発信・交流



和歌山県立橋本高等学校

〒648-0065

和歌山県橋本市古佐田四丁目10番1号

Tel 0736-32-0049 Fax 0736-34-2185

目 次

はじめに

1. 事業の実績	1
2. 事業内容	2
3. 校内運営体制	8
4. コンソーシアムの体制および取組	9
5. コーディネーターの配置および活動内容と課題	10
6. 管理機関による事業の実施体制や管理方法	11
7. 1学年事業内容	12
8. 2学年事業内容	61

1. 事業の実績

(1) 事業の実施日程

実施項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世界遺産に関する 課題研究	4回 現地学習 留学生交流	4回 中間発表	2回	4回 テーマ別発表	3回 学年発表	2回 校内発表
県人会（アメリカ・カリフォルニア）との交流	2回 講演 交流					
市長への プレゼンテーション						1回
SDGsに関する課題研究	4回 企業訪問 講演	4回 中間発表	2回	4回 クラス内発表	2回	2回 校内発表
北海道釧路湖陵高等学校 との討議						1回
高校（オーストラリア） との討議						2回
高校（台湾）との討議						1回
運営指導委員会			1回		1回	1回

(2) 事業の実績の説明

令和6年度から、学校設定科目「世紀の空」を開設するために、各学年1単位計3単位を設定し、「総合的な探究の時間」および各教科と関連付けながら、他者とのコミュニケーションの基本的なスキルを身につけるための活動を計画実施してきた。他府県・海外の高校生、国内外で活躍する社会人などの他者の価値観に触れながら研究を深めることを計画していたが、令和4年度においては、10月からの事業実施であったこともあり、各教科と総合的な探究の時間の関わりを意識したカリキュラムの実

践や外部機関との連携について、十分に行うことができなかった。令和5年度は、コミュニケーション能力の育成を目指し、多角的視点からの考察力を礎としたグローバル人材として、卒業後の社会貢献につなげるため、研究内容の実践を通して、カリキュラムや教育方法等の研究開発を行うことができるよう計画している。

以下は、令和4年度普通科改革推進事業として実施した各学年の事業内容とその課題である。

<参考>

本校は、併設型の中高一貫校であり、高等学校入学生4クラス、内部進学生1クラスの1学年5クラス編成である。1年次は高等学校入学生と内部進学生とはクラスを別にしてはいるが、2年次からは進路志望別での混成クラスとなり、A～C組が基礎学力重視のⅠ型、DEが応用力重視のⅡ型と分けている。

【1学年事業内容・課題】

① 世界遺産訪問事前学習

日時：9/17（土）～19（月） 全クラス

目的：事前学習を通して、世界遺産高野山の文化・歴史への学びを深め、地域にある世界遺産の価値や魅力について理解する。

内容：冊子Ⅰ「世界遺産高野山～高野山の魅力を学習しよう～」を用いて学習する。

② 世界遺産訪問直前指導

日時：10/4（火） 全クラス

目的：事前学習で扱った内容の講義を受けることで、世界遺産高野山の文化・歴史への学びを深め、訪問学習のねらいを明確にする。

内容：趣旨説明・日程確認事項・事前学習の振り返り

③ 世界遺産訪問

日時：10/6（木） 全クラス

場所：高野町

目的：世界遺産高野山の文化・歴史への学びを深め、地域にある世界遺産の価値や魅力について理解することで、探究活動に役立てる。

内容：講演 講師 高野山大学 山口文章 氏

「天空の聖地 高野山 ―世界遺産たる所以―」

体験 精進料理・奥の院（観光ガイド）・壇上伽藍・市内散策



④ 世界遺産訪問事後学習

日時：10/5（水）～10/11（火） 全クラス

目的：訪問学習を通して学んだことを振り返りまとめることで、世界遺産高野山への学びを深め、今後の探究活動に役立てる。

内容：冊子Ⅱ「世界遺産高野山～高野山の魅力を確認しよう～」を用いて学習内容をまとめる

⑤ 県人会との国際交流

日時：10/13（木）全クラス

目的：海外へ移住した和歌山県の先人たちの歴史を学ぶとともに、海外や異文化に対する理解を深める。また、海外県人会とのオンライン交流を行うための事前学習とする。

内容：講演 講師 県国際交流課 湯川香里 氏
「和歌山と移民」



⑥ 県人会との国際交流

日時：10/25（火）全クラス

目的：海外県人会の方々と英語での交流を行い、海外や異文化に対する理解を深める。

内容：県人会の方々とzoomにて交流



⑦ 留学生との交流

日時：10/28（金）1クラス

目的：観光学を学ぶ留学生のプレゼンテーションや意見交流を通して異文化理解を深め、探究活動に役立てる。

内容：①留学生自己紹介

東氏司会で留学生の自己紹介、プレゼンテーションを聞く。

②グループ中間発表・留学生との意見交流
テーマ・課題・質問事項について2分で発表し、留学生から意見をもらう。
(4つのグループに留学生が一人ずつ入り、ローテーションしながら交流する)



⑧ テーマ別発表

日時：1 / 19 (木) 全クラス

目的：設定したテーマにおいて、課題解決に向けた提言をプレゼンテーションすることで、達成感を高め、積極的な探究学習の取り組みにつなげる。

内容：クラス内の8班が、自分たちの提案等を発表する。



⑨ 学年発表

日時：2 / 10 (金) 全クラス

目的：代表班の発表と有識者からの講評を通じて、新たな視点を生徒間で共有し、探究学習を深化させる。

内容：テーマ別で選ばれた10班が、自分たちの提案等を発表する。
(発表時間：6～8分以内。準備を含めて10分以内)

⑩ 校内発表

日時：3 / 15 (水) 全クラス

目的：全学年代表班の発表と有識者からの講評を通じて、新たな視点を生徒間で共有し、探究学習を深化させる。

内容：学年発表で選ばれた3班が、自分たちの提案等を発表する。
(発表時間：10分程度。準備・質疑応答を含めて15分程度)

⑪ 市長プレゼンテーション

日時：3 / 22 (水) 代表班

目的：探究活動で橋本市の課題解決に向けて取り組んだ成果を橋本市への提言として市長にプレゼンテーションすることで、達成感を高め、積極的な探究学習の取り組みにつなげる。

内容：学年発表で選ばれた3班が、市長に向けてプレゼンテーションを行う。

⑫ 海外発信

日時：3月中に実施予定 全クラス

目的：世界遺産の魅力を海外に発信する。

内容：総合的な探究の時間の発表内容を写真と文字を用いて英語で紹介する。
1クラスは高野山の内容について、その他のクラスは総合的な探究の時間での発表内容について発信する。テーマの中で代表に選ばれた班の内容について、同じテーマを扱ったすべての生徒に配分し、提出された原稿を素に英語に訳す。

⑬ 春休み課題

日時：春休み 全クラス

目的：次年度テーマのSDGsについて、基礎知識や重要性について理解し、社会の課題を自らの問題として捉えることで、深い学びにつなげる。

内容：SDGsの内容について学習させ、来年度の学習につなげる。
詳細検討中

【2学年事業内容・課題】

① 夏休み課題

日時：夏休み 2クラス

目的：英文特集記事を読み、時間をかけて内容理解に取り組むことで、英語力の向上に努める。

内容：JICAの英語特集記事を読み、要約する。

② JICAとの交流

日時：9/9（金） 2クラス、9/16（金） 3クラス

目的：発展途上国への国際協力を実施する機関であるJICAの取り組みを通して、支援のあり方について理解を深め、探究活動に役立てる。

内容：① JICA自己紹介 ②生徒の活動支援

③ 人権教育講演会

日時：10/6（木） 全クラス

目的：性や性の多様性について正しく理解し、自他の性の在り方を尊重する態度を育み、性教育の充実を図る。

内容：講演 講師 LGBTとゆかいな仲間たち 代表 安西美樹 氏



④ 平和学習講演会

日時：10/6（木） 全クラス

目的：被爆者から受け継いだ被爆体験や平和への思い、また、被爆の実相（戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要、原爆の人体への影響など）、被爆体験伝承者としての平和への思いなどを聞き、平和について考え理解を深める。

内容：被爆体験伝承講演 講師 志賀雅子 氏



⑤ 企業訪問事前学習

日時：10/6（木）～11（火） 2クラス

目的：事前学習を通して、SDGsに積極的に取り組む企業について理解を深める。

内容：企業スマイリーアースのホームページ映像を視聴した後に課題学習を行い、当日の質問内容を考える。

⑥ 企業スマイリーアース訪問

日時：10/14（金） 2クラス

目的：SDGsに積極的に取り組む企業を視察することで、企業活動の考え方や取り組みについて理解を深め、探究活動に役立てる。

内容：工場見学（SDGsに積極的に取り組む意義と実践内容を聞く。）



⑦ 企業訪問事後学習

日時：10/14（金）～17（月） 2クラス

目的：企業訪問を通して学んだことを振り返りまとめることで、SDGsへの取り組みについて理解を深め、今後の探究活動に役立てる。

内容：今後の活かし方について学習内容をまとめ、自分の考えを書く。

⑧ プレゼンテーション講演会

日時：10/28（金） 全クラス

目的：プレゼンテーションの基本を体系的に学び、聴き手の共感を得る方法を理解することで、探究活動に役立てる。

内容：講演 講師 吉田大作 氏

「プレゼンテーションは準備が9割。プレゼンの3つのStepを理解しよう」



⑨ クラス内発表

日時：1/19（木） 全クラス

目的：各自で設定したテーマのもと、課題解決に向けた提言をプレゼンテーションし、達成感を高め、積極的な探究学習の取り組みにつなげる。

内容：クラス内の10班が、自分たちの提案等を発表する。



⑩ 校内発表

日時：3 / 15（水） 全クラス

（橋本市サカイキャニング産業文化会館「アザレア」）

目的：クラス内発表での発表内容について、吟味・精査し、探究活動の成果報告を行うことで、SDGsに対する意識の向上につなげるとともに一人一人の行動を変えていくことの大切さを学ぶ。

内容：クラスから選出された5班が、自分たちの提案等を発表する。
（発表時間：10分程度。準備・質疑応答を含めて15分）

⑪ 校内討論

日時：2～3月

目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、SDGsについて討議する。

⑫ 国内の高校生との討論

日時：3 / 7（火） 代表班の生徒 オンラインにて

目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに、校外高校生と討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、校外高校生とSDGsについて討議する。

⑬ 海外の高校生との討論

日時：3 / 22（水）・24（金） オンラインにて

目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに、海外高校生と英語で討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、海外高校生（オーストラリアのクリスチャンカレッジ）とSDGsについて討議する。

⑭ 海外の高校生との討論

日時：3 / 31（金） 希望者 オンラインにて

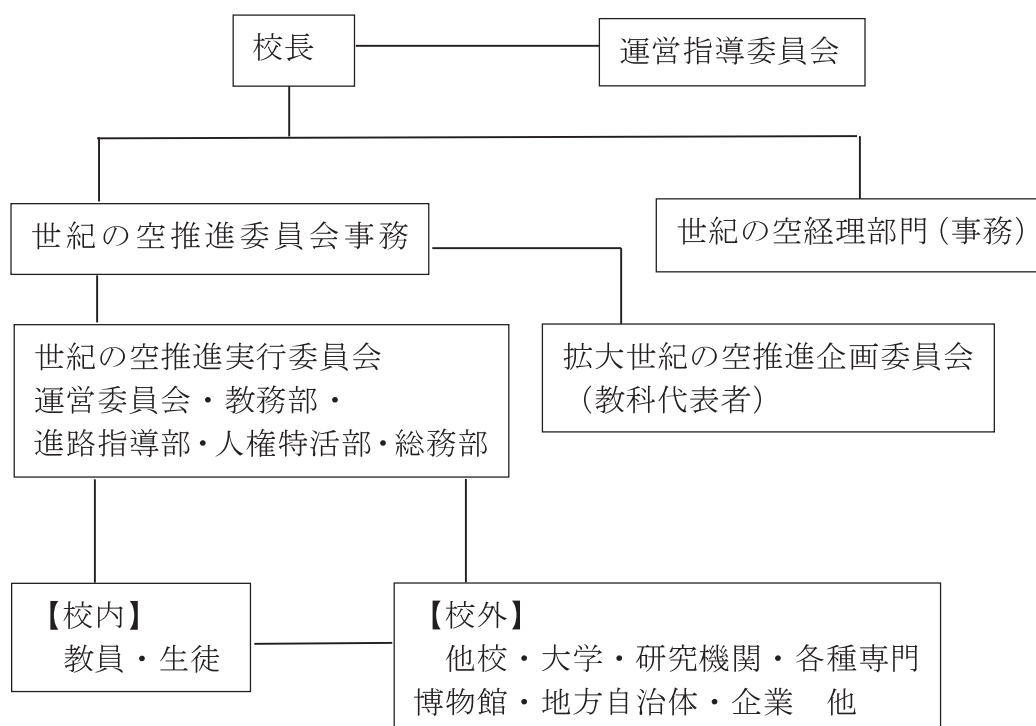
目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに、海外高校生と英語で討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、海外高校生（台湾の台北市立松山高級工農職業学校）とSDGsについて英語で討議する。

【課題】

- ・ 講演会・現地学習の時期・内容の見直し、事前・事後の学習時間の確保と内容の充実。
- ・ 高等教育機関、研究機関などの外部機関との連携強化。
- ・ 総合的な探究の時間や各教科等と本事業を相互に関連付けたカリキュラム・マネジメントの充実。
- ・ 多角的、複合的視点からの考察に基づく課題発表の実践力強化。
- ・ 留学生や国内外の高校生との意見交流、討議の促進。

【校内運営体制】



① 運営指導委員会

大学教員・研究者・関係機関・教育委員会の指導主事等で構成し、専門的な見地から事業全体について指導、助言、評価する。

(構成員)

和歌山教育委員会 学校教育局 県立学校教育課
橋本市教育委員会 生涯学習課・学校教育課
橋本市役所 総合政策部 政策企画課
橋本市国際親善協会
公益財団法人和歌山県国際交流協会
和歌山大学教育学部

② 世紀の空推進委員会事務

研究開発の進捗状況を確認し、職員会議に報告し、運営指導委員会に対して進捗状況、計画・方法について評価を受ける。評価結果から世紀の空推進委員会事務は改善案を作成し、世紀の空推進実行委員会で検討・計画の改善を行う。また、世紀の空推進委員会事務は、コーディネーターとともに、学外との協働による事業全般の企画・立案・実施と各教科と連絡調整を行い、研究開発において生徒を指導する指導教員を支援する。業務が、研究内容の構築と実践に係る調整・連絡、校外機関との連携・調整、広報活動等多岐に渡るため、令和5年度に新たな分掌として位置づけることで、機能的・効率的に研究を進めることができるよう計画している。

③ 世紀の空経理部門

事業全般の経理を担当

④ 世紀の空推進実行委員会

事業全般の検討と職員間の連絡調整

⑤ 拡大世紀の空推進企画委員会

教育課程についての研究

以上、学校長の下で、事業全般の進捗管理を行い、定期的な確認や成果の検証・評価等を通じ、計画・方法を改善している。

【コンソーシアムの体制および取組】

(構成員)

○公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

令和4年度は、クラス内発表会（2学年）での講評・助言を行った。

令和5年度は、海外との交流・発信における指導・助言を依頼する予定である。

○和歌山大学

令和4年度は、校内発表会での講評・助言を行った。

令和5年度は、SDGs講演と生徒への指導・助言を依頼する予定である。

○JICA

令和4年度は、SDGs課題学習における生徒への講演・指導、クラス内発表会（2学年）での講評・助言、校内発表会での講評・助言を行った。

令和5年度は、継続的な連携を強化する予定である。

○認定NPO法人 日越関西友好協会

令和4年度は、海外との交流、発信における指導・助言を計画していたが、実

施できなかった。

令和5年度は、海外との交流・発信における指導・助言を依頼する予定である。

○橋本市役所

令和4年度は、校内発表会での講評・助言を行った。

令和5年度は、校外活動への取り組みにおいて連携を強化する予定である。

○大阪観光大学

令和4年度は、中間発表時における留学生との意見交流指導、海外発信における指導・助言を行った。

令和5年度は、留学生との意見交流を学年全体に拡大して実施する予定である。

○株式会社 JTB

令和4年度は、SDGs 課題学習における生徒への講演を行った。

令和5年度は、校外活動への取り組みにおいて連携を強化する予定である。

令和4年度は、コンソーシアムの構成員による講演や指導助言をいただき、探究活動の基本的なスキルの習得や多角的視点をもつための取り組みを行った。

令和5年度は、多角的、複合的視点からの考察に基づく課題発表の実践力育成や、総合的な探究の時間や各教科等の相互の関わりを意識したカリキュラム・マネジメントの充実に向けて、高等教育機関、研究機関などの外部機関との連携を強化していく。

【コーディネーターの配置および活動内容】

本校では、コーディネーターを2名配置している。主となる1名は、本事業に関わる様々な業務を委託しており、年間通して1回5時間で週2回の勤務であり、もう1名は語学での補助を目的としており、海外発信を行う1月～3月の期間に1回4時間で週1回の勤務である。主コーディネーターは、これまで本校が取り組んできた総合的な探究の時間の内容や本事業の経過・内容、事前事後の指導計画や生徒感想文等、様々なことを把握した上で、担当者や関係者と検討を始めた。今年度については、事業計画に沿って進めるには時間的に限られていたため、取組を進める上で難しいことも多かったが、次年度も見通しながら協議を進めた。

具体的には、高校1年生の世界遺産高野山フィールドワークや高校2年生の株式会社スマイリーアースへの企業訪問の実施後の生徒の意識や考え方の変化を踏まえ、担当者や関係者と熟議し、3学期に向けての取組を再構築した。さらに今までの取組を踏まえながら、海外への発信や他府県・海外とのオンライン交流を計画し、語学力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・ディスカッション能力等の向上を図った。海外発信に関しては、ホームページに英語で研究内容を掲載し、各方面にコメントを求めた上で次年度に行かす予定である。また、国内・海外とのオンライン交流に関しては、関係機関を通じ、今年度中に実施することになっている。

また、これまでのSDGsの研究発表会や地域の課題発見・研究に関する橋本市長に対するプレゼンテーションなどについても、取組と成果を地域や多方面に対して広報する活動も計画している。

課題としては、コーディネーターが担当者や関係者と協議している内容について、全職員の共通理解を図る効果的な方策の検討、また、現在は担当者が行っている校内調整等のコーディネーターへの委託等、コーディネーター業務の精選が必要である。さらに、今年度は、コンソーシアムとの連携についても、JICA・大阪観光大学などの事業における位置づけを明確にし、協働体制のあり方についても、コーディネーターを中心に検討する必要がある。

○管理機関による事業の実施体制や管理方法

(1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営指導委員会									1回		1回	1回
管理機関訪問	1回		2回									

(2) 実績の説明

令和4年度は運営指導委員会で3回、それ以外に3回の計6回、学校を訪問し、事業の内容や進捗状況について把握し、指導助言を行った。また、訪問していない月においても、ほぼ毎週、現在の状況や今後の計画について、電話やメールにより学校側の担当者と協議を行った。